



瀬戸内の玉島港が生んだ

# 船大工 加瀬野 工展

Takumi Kaseno

2018

8.14<sub>TUE</sub> → 8.19<sub>SUN</sub>

午前9時→午後5時

玉島市民交流センター

岡山県倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1 TEL.086-526-1400

観覧無料

主催/船大工 加瀬野工展実行委員会

後援/玉島テレビ放送(株)・KCT 倉敷ケーブルテレビ・FM ぐらしき・岡山県・倉敷市・倉敷市教育委員会・倉敷市文化連盟・山陽新聞社

【お問い合わせ】 柚木平吉 / 〒713-8103 倉敷市玉島乙島城 420 TEL.090-1181-1128



## 加瀬野工の経歴

加瀬野工氏は大正9年(1920年)、父 久二郎氏創業(昭和3年)加瀬野造船所の長男として生を受け、今年(2018年)平成30年2月5日97歳で亡くなった。昭和を代表する船大工の名工であった。

工氏は尋常小学校卒業後、父の元で修業を積み、早くから近隣の船大工の羨望的となっていく。

戦争では、あのインパール作戦(ビルマ)に従軍、灼熱の行軍中、自爆死する戦友を見送り、濁流を泳ぎ、病に冒されながらも日本に帰還した。

そして、再び造船所で主たる大工として働き、家族を支えていった。しかし、昭和も30年中半、玉島港にも鋼船が姿を見せるようになった。名うての船大工もその技を発揮する場を失う事体が訪れた。

脂ののり切った工氏にも、その波は当然襲って来た。

しかし、工氏は慣れない家屋の建築、リフォーム、家具、小物に至るまでこなしながら木との関わりを続け、実に稀有な木工者となっていた。

工氏が65歳(昭和61年1986年)氏の長男、久志氏の友人から弁財船(通称、北前船)の模型の注文を初めて受けた。

工氏は「和船の会」のセミナーで全国を回り、学び、資料館通い

の末、手探りで作り上げた。それから20数年、木造船の模型製作を続ける事となった。

伝馬船、櫓、神棚、水槽、トイレ、綱の組打ち、帆の縫製、錨(アンカー)、スクリュー、舵の鋳型作りに至るまで全て工氏一人の手作りで仕上げている。

構造は実物と同じだから、当然ラットを回せばチェーンに連動し舵は動かし、窓もドアも開く。付け加えるならば、作品への気の入れようは微に入り細に入り、縮小からくる仕上がりのバランス、違和感は板の木目まで意識していた事を耳にした時の驚きは今も消えない。その技術力の高さ、細工の器用さ、発想力の柔軟性は正に名工の名にふさわしい船大工であった。

増して、何事にも謙虚に、偉ぶらず事をなし、地元の要職も進んで受け勤められた。「自慢を良しとしない人柄」は、大正、昭和、平成と一世紀を生き抜いて築き上げた職人魂の真骨頂として矜持をもって私達は語り継ぎたいのである。

「玉島人 捨てたもんじゃあない!!」

柚木平吉



堀越丸製作中(89才)



弁財船



機帆船 天神丸



天神丸



住吉丸(岡山県立博物館 寄贈)



イサバ石材運搬船(個人)



現役の大安丸



## 玉島市民交流センター

岡山県倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1  
TEL.086-526-1400

### 【交通案内】

JR山陽本線「新倉敷駅」から玉島中央町行バス「文化センター入口」にて下車、徒歩2分  
山陽自動車道「玉島IC」から車で約15分

### 【お問い合わせ】

柚木平吉 / TEL.090-1181-1128  
〒713-8103 倉敷市玉島乙島城 420

